

卒業おめでとうおめでとう

PTA会長 坂神 雅史

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

この三年間を振り返ってみますと、コロナ禍の中、入学はしたものの学校生活を送ることが二か月間程遅れるなど、三年生の皆さんは普通ではない状態でかなり戸惑いを感じたと思います。いつまた、学校が休校になるのではと日々気が気ではなかったと思います。

しかしながら、そのような状況の中で皆さんは自分なりに考え、今の状況を理解した上で通常ではない学校生活を送られたこと、とても立派だったと思います。

マスクを着けて入学をし、マスクを着けての授業・学校行事そして食事等本当にストレスが多い学校生活だったと思います。

今年度においては、コロナ禍ではありませんが、状況を考え少しでも今まで通りの学校生活を取り戻したいという思いから、完璧ではないにしてもある程度は日常を取り戻せたのではと考えます。これは、校長先生をはじめ、教頭先生及び諸先生方の努力、そして保護者の皆様の協力があったからだと思えます。本当にありがとうございました。

さて、私が卒業生の皆さんにお伝えしたいことが一つあります。

それは、「選択」です。これから、新しい生活を送る中で大切なことだと私は考えます。

卒業生の皆さんはすでに、選択の第一段階は経験をしたと思います

しかしながら、今後は今以上に選択をしていく機会が増えてくることでしょう、そのときに、そのときの状況に流されずに自分自身で今の状況や今の自分が置かれている環境を考えたうえで判断をしてください。考えるにあたり、選択は一つだけではなく二つ、三つと選択肢を広げ自身の可能性を広げてください。

しかし、選択をするだけでは何の意味もないと言ふことは覚えておいてください。選択をしてそれに向かつて何が必要かどうすればいいのかを考え努力することが重要です。それがなければ選択をしただけで終わってしまいます。自分自身の選択に対して努力することができれば、皆さんの今後の未来は限りなく広がっていくでしょう。頑張ってください。

最後に、卒業生の皆さん「元気でいてください」

そして、今後思い悩むようなことがあるならば、我が幸田中学校へ戻ってきてください。良きアドバイザーがもらえるはずですよ。

コロナ禍おめでとう

教頭 望月 幸夫

三年生一八七名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学校生活はわずか三年間でしたが、仲間と共につくった思い出がたくさん詰まったものだったと思います。

特に皆さんは、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延で始まった中学校生活。厳しい制限の中、学校生活を送らなくてはなりません。これまで、常識とされたことが通用しなくなり、世界の経済のシステムや日々の生活様式が根本的に変わりました。マスク着用、手指消毒が当たり前。部活動時間の半減。行事の大幅削減がなされました。残念ながら、小学校の卒業式も中学校の入学式もまともにできませんでした。

そんな厳しい状況下にもかかわらず、三年生として、三年ぶりに行事を一つ一つこなしてきました。その中でも、関東方面の修学旅行。体育大会の団別縦割り演舞。生き方講演会でのE X I L E Ü S Aさんとのダンスコラボレーション。きっと、大きな思い出として皆さんの心に残ったと思います。これまで、幸田中を支えてくれて、ありがとうございます。ちなみに私も幸田中と一緒に卒業します。卒業した皆さんのこれからの人生が光輝くように願っています。

ありがとう

教務主任 倉田 長範

ご卒業おめでとうございます。「ありがとう」と一日一回言えるような人になりたい。

「ありがとう」と一日一回言ってもらえるような人になりたい。

自分の命を、周りの人の命を大切にできる人になりたい。

何か困ったことがあるときに「困っているよ」「助けて」と言える人になりたい。

そして、その声に気付ける人になりたい。何となく心地よい雰囲気を作り出せる人になりたい。自分のことより、相手のこと、仲間のこと、社会のことを大切にできる人になりたい。

不撓不屈

校務主任 小野良 琢也

この幸田中での三年間の思い出をいくつか思い浮かべてみてください。「友達」でしょうか。「部活動」でしょうか。それとも行事や授業で頑張ったことでしょうか。思い浮かべたことが、あなたのこれからの心の支えになるものです。これからは、一人一人が自分の道を一歩ずつ歩んでいきます。順調なときばかりではありません。順調なときこそ、自分が試されているのだと考え、歯を食いしばって乗り越えてください。目に見

校歌のソング

小畑 豊美

"If you are not willing to learn, no one can help you."

If you are determined to learn, no one can stop you."

学ぼうという気持ちがないなら、誰もあなたを助けられない。学ぶ決心をしているなら、誰もあなたを止められない。という意味です。周りには自分を成長させるヒントがたくさん散らばっていて、学ぼうという気持ちをもって人はそれをたくさん拾うことができます。そういう人は内面から輝いて見え、周りも助けられると思います。これからも皆さんの成長を応援しています。

自分を磨き続ける

佐々木 洋一

卒業おめでとう。変わり続ける世の中でも変わらないのは、自分が歩んだ道のと体験してきた経験です。だから、自分の心が動くことに力を注いで経験を積み重ねていきましょう。それが人生を輝かせていきます。技術で製作したペン立ての輝きを思い出

つれていこう

榎原 康治

入学したころ、新型コロナウイルスの影響で、分散登校が続きました。それから中学校生活がスタートしました。この先、「中学校生活はどうなってしまうのだろう」と不安になった覚えはありませんか。しかし今は、中学校を卒業します。思い描いたような学校生活ではなかったかもしれませんが、それでも新たな仲間と出会いました。部活動も最後までできました。授業でたくさん学びました。この生活で変化したものがたくさんあります。が、「これでいいのだ」これからの私たちの生活（人生）において、何か意味があったのだと考えています。

みんなのおかげ

高須 優典

「みんなのおかげ」この言葉は、先生が中学生のときに自分の座右の銘になった言葉です。人は一人では生きていきません。自分が見えるところでも、見えないところでも必ず誰かに支えられています。結果が出たり、調子が良かったりするときはつい「自分の実力」と思ってしまうがちですが、その過程には必ず周りの支えがあります。自分に自信をもつことも大切ですが、根本にあるものを忘れてはいけません。卒業生の皆さんのおかげで先生もたくさん学ぶことができました。ありがとう！

新たなステージへ

渋谷 悠里菜

ご卒業おめでとうございます。休校から始まったみんなの中学校生活。多くの制限がある中、みんなで体育館に泊まったり、二十キロ歩いた後に海ではしゃいだり…。初めて担任をさせてもらったこの学年には、本当に皆さんの思い出があります。

入学したときからコロナ禍で、思い描いた通りの中学校生活ではなかったかもしれない。でもみんなは間違いない。この困難を乗り越えてきました。仲間と過ごした三年間を自信にして、これからも様々なことに挑戦し続けるみんなであってほしいと思います。

新時代だ

牧野 築

「見えるよ新時代が世界の向こうへさあ行くよ New World 新時代はこの未来だ」ラウタ

学ばなければならぬ。そんな時代が終わりました。ここからは自分から学び、考え、自ら進んで創っていく新時代の幕開けです。いつまでも自分の内を探しても見つからないものがあります。これまで自分の内に向けていた目を、これからは外へと向けていくときがきました。心から楽しいと思えること、考えたらわくわくしてくること、感動すること、絶やさないうでください。みなさんが探し進むことで生まれる新時代を、私もしっかりと歩んでいきたいと思えます。

幸せな毎日をありがとう

鈴木 貴大

みんなが一年生のとき、初めてみんなと授業で出会いました。本当に人懐っこい学年だと思いました。そんな学年に、次の年、担任として関わることができ、今年も卒業まで一緒に過ごすことができたことが、本当に幸せでした。卒業までの日が短くなっていくにつれて、たくましくなるみんな

あの姿を見て、いよいよ卒業だと思っ
ていました。いつもいつも貴先生と
話しかけてくれるみんなが本当に大
好きです。ずっとずっと忘れません。
次会うときはみんながもう少し、大
きくなってからかな。元気な姿をま
た見せてください。その日まで、先
生も頑張ります。卒業おめでとう。

行動力をもって

大須賀 学

「すぐやる、必ずやる、できるまでやる」
これは、ある会社の社長さんの言葉で
す。世の中の様々な情報に惑わされ、
一歩踏み出すのに迷ってしまうことも
あるかと思いますが。しかし、迷った
らすぐに行動する。その行動力は、時
に自分の可能性を広げ、時にピンチを
チャンスに変えてくれるでしょう。
行動力のある人間は魅力的です。
ぜひ、「嫌だな」とか「大変だな」と
思うようなことにも前向きに挑戦し、
経験を積み重ねていってください。

幸せを感じられる人に

立川 綾佳

二年前一緒に過ごした皆さんに当
たり前のようにもう会えなくなると
考えた寂しい気持ちになります。
しかし、そう思える温かい学年だっ
たことに改めて気付き、そこに居さ
せてもらったことに感謝しています。
皆さんはこれからもっと広い世界へ

踏み出していくことになりまし
す。の先には思うようにいかないことや、
つらいことがあるかもしれないことや、
そんなときは、身の回りの喜びや幸せ
を探してみてください。見えにくい
ことでもあります。実は近くにあり
ます。それを感じられる豊かな心を
もてる人になってほしいです。
ご卒業おめでとうございます。

誇れる技を持つ

神田 朗佳

ご卒業おめでとうございます。
「技」というと何か特別な技能のこと
を指すように思えるかもしれませんが
が、何でもかまいません。英語が話
せるでもいいし、出し巻き卵を美味
しく作れるでも素敵だと思います。
どんなことでも誇れるまでになるに
は、それなりの努力が必要です。その
努力した時間と身に付いた「技」が自
信となり、助けとなる時が来ます。
誇れる「技」を一つ身に付けてく
ださい。身に付いた「技」はあなた
を裏切りません。

考えることを止めないで

山本 啄巳

「人間の弱さは、それを知っている
人たちよりは、それを知らない人た
ちにおいて、ずっとよく現れている」
この言葉を覚えていきますか。

本当にその通りだと思います。

卒業に寄せて

渡邊 正道

自分の弱さを見ること、自分はこの
ままでいいのかと自問自答することは
苦しいことだと思います。でも、どう
かそこから逃げないでください。
苦しくても、つらくても、何歳になっ
ても考えることを止めないでくださ
い。自分の弱さを知っている人は、他
人に優しくできます。人に寄り添うこ
とができます。

どうかみなさんがそんな大人になり
ますように。心から願っています。
卒業おめでとうございます。

向き不向きよりも前向きに

伊藤 穂奈美

三年生の皆さん、ご卒業おめでと
うございます。体育大会の団活動で
は、団を引っ張っていく三年生が全
力で楽しんで活動している姿が印象
的でした。全力で楽しむ姿が広がり、
幸田中の色となっているのを感じた
瞬間でした。

さて、これからの新しい生活、こ
れまでになかったような出会いや出
来事が皆さんを待っています。「自分
にできるかな」と頭で考えるより、「な
んか気になるな」と心躍った自分の
気持ちを前向きに捉え、進んでみて
ください。その先にきっと素敵な未
来が待っています。

豊富な経験を

横田 景

ご卒業おめでとうございます。心
身ともにたくましくなった皆さんの
卒業を大変嬉しく思います。

これから始まる新しい生活。夢を膨
らませていることでしょう。先を恐
れず、たくさん経験をしたいです。
楽しいこともつらいことも経
験した先には、もっと輝く自分になっ
ていることでしょう。きっと大丈夫！
自信をもって突き進んで下さい。

私が見たもの

佐原 由香里

令和二年四月七日。赤い絨毯の上を
歩きました。私が歩く後ろには、私

より小さな少女少女たちが、緊張し
た表情で歩いていました。一年を一
緒に過ごし終わる頃には、素敵な笑
顔が絶えない「中学生」になってい
ました。

今年度、廊下からみんなの様子を
見ていました。いつの間にか、私の
身長を越え、私よりも広く、温かい
心をもっていました。素直な笑顔は
健在で、見る度に安心感を得る程で
した。

令和五年三月七日。赤い絨毯は、
より鮮やかに見えました。胸を張り、
未来へと歩むみんなの道に、ふさわ
しい色をしていました。そんな道を
歩んでいくみんなの背中を、どんな
想いで見届けるだろうか・・・
「卒業おめでとう」
「三年間ありがとう」

銀の竜の背に乗って

今泉 雅文

三年生のみなさん、ご卒業おめで
とうございます。みなさんが幸中の
ために頑張ってくれていたことは忘
れません。

いよいよ新しい世界に飛び出すわ
けですが、何もかもがうまくいくこ
とはありません。困難を乗り越えて
自分の夢をつかんでいってください。
綿ほこりみたいな翼でも
木の芽みみたいな頼りない爪でも
明日、僕は竜の足元へ

崖を登り、呼ぶよ
さあ行こうぜ！

銀の竜の背に乗って
希望をつかむ努力を続けましょう。

自分の世界を広げる

高嶋 枝里

「どちらだっていい。大丈夫、きっと
なんとかやっていける。私は銀木犀
の木の下をくぐって出た」『星の花が
降るころに』より

図書室でお気に入りの本を選んで
借りたり、本について楽しそうにブツ
クトークしたりする姿が心に残って
います。本は心の栄養。自分の世界
を広げてくれる存在です。

幸田中で学んだことをもとに、ま
た、本に力をもらって、自分の未来
に向かって進んでいってください。こ
を期待しています。

根は育つ

稲吉 忍

三年生の皆さん、卒業おめでとうご
さいます。これから、新しい環境での、
新しい生活が始まりますね。全てが
楽しく、順調とはいかないかもしれ
ません。そんなときは、
何をやっても
思うようにならない時
上にのびられない時に

根は育つんだから（相田みつを）

と、考えてみてください。これからの
みなさんを支えてくれる大事な「根」
が、表には見えないところで、き
と育っています。

笑顔で

前原 史隆

笑顔は、すばらしいです。
笑顔は、周りを明るくします。
笑顔は、自分の心も明るくします。
笑顔は、すばらしい。

卒業おめでとうございます。
仲間との別れを悲しみましたが、
ともに思い出をしっかりと語ろう。
一生の大切な思い出にしよう。

さあ 新たな出発です。
多くの人との出会いがあります。
不安もあると思いますが、自分から
声を掛けていこう。
明るくて元気の良い声で。
もし少しでも覚えていたら
笑顔忘れずに！

念ずれば花開く

山本 弘文

詩人「坂村真民」の詩の一説です。
一心不乱にやり続ければ、道が開け
るとい意味から、知っている人も
多いと思います。

応援ついでに

猿島 智佳子

社会科の授業を一緒に過ごした一年生
のときから、心も身体も本当に大きく
そしてたくましくなったなど、三年生に
なった皆さんの活躍を見ながら思っ
ていました。ご卒業、本当におめで
たうございます。

これから、それぞれの道へ出発する皆
さん。その道中は順風満帆なときばかり
ではないかもしれませんが、自分の「素
敵」を大切に、どんなときも前に進み統
けてほしいと思います。応援しているよ。

一歩でいいから

池田 千尋

私は、昔から新しい環境が少し苦手
でした。周囲の目や挑戦した結果を気
にしています。でも、「何
かを変えたい」「前に進みたい」とい
う思いにはさまれ、苦しいときを過

していました。そんなとき、「何を始めるにも必ず最初は「一歩」と声を掛けてくださった先生がいました。心が軽くなりました。大きな挑戦でなくてもよい。ただ、目の前のほんの一歩がとにかく大切です。ゆっくり積み重ねてください。」

いつでも心に笑顔を

伊藤 瑠美

「ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした三年間、中でもSEG's合宿や修学旅行に一緒に行けたことは思い出深いことです。これから皆さんは、新しい世界に踏み出し、多くの経験をします。時にはつらく苦しいこともあります。そんなときこそ笑顔を作ってみてください。幸せは自分の心が決めるもの。笑顔には、心を元気にする力があります。同じ大変な経験でも、心が元気であれば、前向きに考えられ、幸せを感じられるようになるはずですよ。これからも笑顔を大切に、いっぱい幸せを感じてください。」

「今、大きく変わっているんだ」とプラスに捉えてほしいです。最後に、この言葉を送ります。「人生という土に、汗という名の水と、努力という名の肥料をやり、夢という名の花を咲かせよう」それぞれの甲子園(夢)に向かって頑張れ!

人生の財産として

天野 諒祐

「ご卒業おめでとうございます。全校ライジングサンを踊っているときの笑顔がとても素敵でした。幸田中学校でたくさんのお話を学んだと思います。それはすべて自分自身の「財産」となります。一年間新型コロナウイルスに振り回され、思うような活動ができなかったと思いますが、その中でも、何か考え、活動し、後輩に姿で見せる姿は立派でした。これからさらに大変なことがあると思いますが、「仲間」とともに乗り越えてください。」

心躍る方へ

山本 早織

「新しい世界へ、大きな一歩を踏み出す皆さん。ご卒業おめでとうございます。皆さんが進む先には、多くの出逢いや選択、別れが待っていることで

自分を信じて

野村 英里

「あなたの夢を、そんなこと無理だっていう人いるでしょ。こう言い返してやりなさい。あなたには無理ね、でもわたしはできるの、あなたとわたしはちがうから、って。でも言ったからには夢をかなえなきゃいけないことも覚えておきなさいよ。でかい口たたくんだから。」(小説ムーミンより)

「今」は「過去」の結果であり、「未来」の原因でもある。未来は、勝手にやっつけてきません。今の自分が未来を決めるのです。だから、未来は、いくらでも変えられます。今できることを一生懸命頑張ら、素晴らしい未来を手に入れてください。」

夢に向かって

福田 みのり

「ご卒業おめでとうございます。私が幸田中学校に赴任してきたときに一

大切な時間

山本 泰暉

「ご卒業おめでとうございます。新しいスタートに不安もあると思いますが、不安を感じられること、新たな環境がスタートできることはとても幸せなことですよ。人生において大切な時期をより大切に過ごしてください。」

「ご卒業おめでとうございます。みなさんは、入学時、明日が見えない、とても大変な毎日をご過ごしました。しかし、これから先の人生、大変なことがあっても、

進む道

竹田 陸人

「人間は考える葦(あし)である。」数学者・哲学者のパスカルが残した言葉です。人は植物の葦のようにかよい生き物であるが、思考によってどんなことも可能にさせるという意味です。何事に挑むにも常に思考を止めずに、あなたの道を止めずに突き進んでもらいたいと思います。まだまだ、道は始まったばかりです。可能性は無限に広がっています。

「これから先の未来を、これまでの時間、これまでの思い出を胸に過し、輝かしいものにしてってください。」

Story

渥美 翔也

Story意味は物語、話といった意味があります。中学校三年間でたくさんのお話があったと思います。一年生の物語、二年生の物語、三年生の物語、行事、部活動、習い事、どれも素敵な物語です。

昔話を人々が大切にしてきたように、皆さんも皆さんの物語をこの先も大切にしてください。いつになるかかわりませんが、何年後か皆さんが改めてその物語を再び

語り合うときが来るでしょう。「あの合唱コンのときさ」「あの練習大変だったよな」「〇〇先生のものまね」楽しみですね。

この先もまた、どこかで皆さんの物語が聞ける日を楽しみにしています。ご卒業おめでとうございます。

感謝

芦田 奈々

「ご卒業おめでとうございます。最後の一年間は、担当学年が違ったのであまり関わられませんが、部活動や団の活動、様々な行事で皆さんが頑張る姿を見ることができて、嬉しかったです。これからの人生で、自分にとって苦手なこと、やりたくないことをしなければならぬことがあるかもしれません。そのときに「自分にとって苦手なことをすることは、自分の視野を広げるチャンスだ」というように捉えてもらいたいです。」

私がこの学校で楽しく過ごせたのは、皆さんの頑張りや優しさがあったからだと思います。今まで、ありがとうございました。ご卒業おめでとうございました。

未来の原因

鋤柄 伊左雄

「ご卒業おめでとうございます。コロナ禍での様々な制約の中、幸中

らしさを受け継ぎ、全校生徒に熱い力を与えようと頑張ったみなさんは輝いていました。そんな、みなさんの未来が輝くことを願い、次の言葉を贈ります。「今」は「過去」の結果であり、「未来」の原因でもある。未来は、勝手にやっつけてきません。今の自分が未来を決めるのです。だから、未来は、いくらでも変えられます。今できることを一生懸命頑張ら、素晴らしい未来を手に入れてください。」

置かれた場所で咲きなさい

鈴木 理加

この題名の言葉は、私が大切にしている言葉です。

置かれたところこそが、今あなたの居場所なのです。「こんなはずじゃなかった」と思う時にも、その状況の中で「咲く」努力をしてほしいのです。(置かれた場所で咲きなさいより)

最高学年として、一人一人が輝く場面をたくさん見せてもらいました。「ありがとう」の思いでいっぱいです。これから皆さんは、それぞれの道でたくさん新しい出会いが待っています。どこに行くかよりも、そこで何をやるのが大切です。幸田中学

「自分」を探して

野中 麻衣

「ご卒業おめでとうございます。みなさんは優しく、温かく後輩を引っ張ってくれた素敵な先輩です。さて、みなさんは将来何をしたいですか。どんな大人になりたいですか。こんな問いをされることも多いでしょう。この問いを考えるために自分の好きなものや強みがあるのかを常に見つめ続けてください。常に自分の心に問い掛けてください。」

あなたが楽しいと思えることは何ですか。そこから「自分」という人間が見えてくるはずです。「自分」を大切に、大きく羽ばたいていてください。応援しています。

あごぐい、きん前を回す

安井 祐三子

この一年、皆さんが授業の中で自分の課題に懸命に取り組む姿、友達の成長を喜ぶ姿を、たくさん見ることができました。私もそこに居合わせることができて、大変嬉しかったです。皆さんの幸せな時間を有り難うございました。会えなくなるのは

少し寂しいです。でも、卒業して、これからは新しい生活が待っています。中学校では経験しなかったような素敵な喜びや、大きな苦労があるでしょう。皆さんが新しい生活を生き生きと楽しんで、苦しいときも前を向いて、幸せになるために頑張ってください。とを、心から願っています。

ありがとう

青野 ひろみ

ご卒業おめでとうございます。四月にみなさんと出会ってからは、あっという間に一年が経とうとしています。授業ではいつも明るく答えてくれたり、グループワークでは友達と一生懸命考えていたりする姿がとても印象的です。また、休み時間にはみなさんの素直で優しい心にたくさん触れ合うことができました。これからもそんな素敵な幸中生の心を持ち続けて、新しい場所でも頑張ってください。またいつか、大きく成長したみなさんと出会えることを楽しみにしています。

一步を踏み出して

三輪 節子

中学校生活は三年間と期間は短いですが毎日とても濃い内容の日々だったと思います。勉強も難しくなり部活動という新しい環境にも戸惑いがあったと思います。中学校では与えられるだけではありません。自

分かつかみ取っていかねければならないこともたくさんあります。それらと向き合い頑張ったことで卒業という節目を迎えることが出来ました。今度は新しい高校という場所に一步踏み出します。恐れることはありません。今皆さんには勇気があります。どうか元気で一步踏み出して下さい。

素敵な未来を

岩瀬 貴子

義務教育も終わり、あっという間の九年間でしたね。多くの方々がみなさんのことを思い、見えないところで助けてきました。そして、時には叱られることもありましたが、この先の道も自分一人だけではありません。これからも新しく出逢う方たちにも思いやりの心と感謝の気持ちを忘れずに共に素敵な未来を築いていってくださいね。陰ながら応援しています。

自分の進む道

スクールカウンセラー 平尾 俊哉

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。義務教育の九年間がこれで終わります。無事この日を迎え、ご家族も喜んでいらっしゃると思います。これからは自分の進む道を自分で決めることができます。選択した道がどんな道でも周りへの感謝を忘れ

ず進んで行って下さい。応援しています。

心に寄り添う

学校図書館指導員 渡辺 有美

「感謝」の反対語は「当たり前」当たり前が当たり前ではないことに気付く。それが大切。『人の心すべてはわかり得ないものである。ただ、ただ寄り添う。』(『見えないからこそ見えた光』より) これから先、皆さんの出会いがみなさんを待っています。どんなときも周りに感謝し、思いやりをもち、自ら行動できるみなさんでいてください。これからも応援しています。

未来に向かって

池長 みちか

これからも今の力を生かして、未来に向かって一歩ずつ進んでいってください。応援しています!!!

Parabéns pela formatura!!
Desejo que você continue
passo a passo em direção ao
seu grande sonho do futuro!!!

Well done everyone. I know the last 3 years were very difficult, but you did very well. Have fun in high school. Good luck.

Andy

よくがんばったね

アンディ



卒業する三年生へ

一年

僕たちが入学したときから、三年生のみなさんは尊敬できる存在でした。部活動では、勝つために一心で練習に取り組んでいた姿を今でも鮮明に覚えています。体育大会の演舞では、自分たちで一から動きを考えて、練習して僕たち一年生にも丁寧に教えてくれる姿にさすがだなと思いました。

先輩へ贈る言葉

ちに基本的なことを一から丁寧に教えていただきました。そのとき、先輩の矢を射る力強い姿だけでなく、後輩に優しく寄り添う姿に憧れを抱きました。

先輩方が部活動を引退された今、後輩を教えているときはいつもそんな先輩方の姿を思い出して取り組んでいます。

他にも先輩方は私たちにたくさんのことを教えてくださり、常に先頭で頼もしく引っ張ってきてくださいました。次は私たちの番です。私たちが頼もしい姿を示していくことが、先輩方への恩返しにつながると思います。かっこよい先輩の姿に少しでも近づけるように頑張ります。

幸田中学校を卒業して、様々な進路を進まれる三年生のみなさん、ぜひ、自分自身を信じて、夢に向かって進んでいってください。僕たちも三年生の姿から学んだことを少しでも多く生かしていきたいと思います。

頼もしい先輩を追いかけて

二年

私は弓道部に所属しています。入部のきっかけは、先輩方の弓を引く姿がかっこよく素敵だったからです。入部すると、先輩方は自分の練習を中断して、何も分からない私



2年生・SEG's合宿

後輩へ贈る言葉

思いをつなぐ

三年

私たちは、生徒会スローガン「統一のもと、全校の心を一つに、そして、より高いレベルで伝統をつないでいくことを目指し、様々な活動を行ってきました。全校合唱「輝くために」も、その活動の一環です。今年度の合唱コンクール当日に、三年ぶりに、全校で歌う機会がいただけました。そのときの全校合唱は、自分の心に強く残っています。全校の歌声が、ホール全体に響き渡り、心のつながりと力強さが感じられる、素晴らしい合唱になりました。

また、全校ダンス「ライジングサン」では、昨年度のダンスをさらにレベルアップさせ、EXILEのUSAさんや、これまでの伝統をつないでくださった先輩方と一緒に、多くの方々に幸せを届けられるよう、企画を考え、実行しました。全力でダンスを踊る楽しさや、笑顔があふれ、忘れられない素敵な時間になりました。これらの活動を通して、先輩たちの思いにふれ、後輩へのバトンをつなぐ活動ができたと思います。これまで、私たちが支えてくださり、ありがとうございました。これからも輝く幸田中学校であることを願っています。

仲間

三年

私が部活動を引退したとき、後悔はありませんでした。なぜなら、仲間がいたからです。

団活動を通して学んだこと

三年

私は、ソフトボール部のキャプテンを務めていました。「自分はこれでいいのか」と自信がなくなったり、落ち込んだりすることもありましたが、それでも、仲間が一緒にいてくれた。一緒に喜ぶ、一緒に悲しむ、一緒に苦しい時間を乗り越えることができたので、最後の夏、県大会出場を果たすことができたと思います。今後、様々なことに悩んだり、苦しんだりすることもあると思いますが、思いを共有し、顔を上げてみてください。頼りになる仲間がいると思います。お互いを支え合い、後悔のない夏にしてください。これからも応援しています。